

EUSI メールマガジン Vol. 027

「食い潰される革命の遺産 ホルン・ハンガリー元首相の死に寄せて」(秋山晋吾)

EUSI (EU Studies Institute in Tokyo)は、一橋大学・慶應義塾大学・津田塾大学の3校のコンソーシアムによるEUに関する教育・研究・広報を行う拠点です(詳しくは以下をご覧ください)
http://eusi.jp/content_jp/aboutus/about_eusi/

【EUSI Commentary Vol. 018】

「食い潰される革命の遺産--ホルン・ハンガリー元首相の死に寄せて」

秋山晋吾 (一橋大学大学院社会学研究科准教授)

6月19日、ハンガリーの元首相ホルン・ジュラ氏が80歳で死去した。最近数年間は病気のために表舞台からは退いていたため、彼がハンガリーのメディアで話題の中心となったのは2007年以来だろう。その時のニュースは、当時の社会党ジュルチャーニ政権が提案したホルン氏への勲章授与が、当時のショーヨム大統領によって拒否されたというものだった。その一件からも透けて見えるように、ホルン氏はハンガリーの現代史の矛盾を体現した人物のひとりだった。

ホルン氏は、戦後確立した社会主義体制下の1954年に勤労者党(1948年に共産党が合併改名)に入党、1956年10-11月のハンガリー革命(社会主義体制に反対する市民蜂起がソ連軍によって鎮圧された事件)では、社会主義労働者党(同年10月に勤労者党が改組・改名)の革命派弾圧の実働部隊で活動した。その後、外務官僚としてのキャリアを経て、1980年代から党内の改革派グループで頭角を現し、1989-90年には社会主義体制最後の内閣で外相をつとめた。1994年には、体制転換後の2度目の総選挙で社会党(1989年に社会主義労働者党が改組・改名)を率いて大勝し、1998年までの4年間、首相を務めた。

世界にその名を知られるようになったのは、1989年6月に、オーストリアとの国境に設置されていた鉄条網をオーストリアの外相とともに切断して、「鉄のカーテン」の終焉を印象付けた時だった。その後、ハンガリーに避難してきた数多くの東ドイツ市民を西ドイツに出国させる決定を主導して、ベルリンの壁崩壊への道を整えたことは、今後も世界で記憶されていくだろう。

しかし、ハンガリーでのホルン氏の評価は極めて両義的である。一方では、国際社会への復帰を主導して冷戦を終焉させ、民主体制下で初めての政権交代を果たしてこの体制を軌道に乗せた立役者として評価されるが、他方では、1956年に革命派弾圧の手先となり、独裁政党でキャリア形成した人物として拒絶されるのである。

2007年の叙勲問題は、ホルン氏の民主化への貢献に焦点を当てた政府と、革命弾圧者としてのホルン氏を問題視した大統領の間の見解の相違であった。つまり、その時に対立軸となったのは、1956年と1989年というハンガリー現代史のふたつの象徴的な年号のどちらに注目するかということであった。

...

(続きはこちら↓)

<http://www.hit-u.ac.jp/kenkyu/eusi/eusicommentary/vol18.pdf>

【EUSI イベントご案内】

EUSI 政治プロジェクト研究会

「Japan's Evolving Economic Diplomacy and Its Relevance to Europe」

(日本の経済外交とヨーロッパ)

日時: 2013年6月26日(水) 16:30-18:00

場所: 慶應義塾大学三田キャンパス 南館地下4階・2B41 教室

言語: 英語

講演者: Maaïke Okano-Heijmans (オランダ国際問題研究所研究員)

討論者: 田所昌幸 (慶應義塾大学法学部教授)

司会: 細谷雄一 (慶應義塾大学法学部教授)

<http://eusi-politics.tumblr.com/post/52622398061/2013-6-26>

また上智大学ヨーロッパ研究所より講演会のご案内が届いています。

「何歳からでも冒険しよう。ドイツ語学科劣等生からドイツ舞台俳優への道」

日時: 2013年7月11日(木) 13:30-15:00

場所: 上智大学中央図書館 8F L-821

講演者: 原サチコ (ハンブルグ・ドイツ劇場専属俳優)

主催: 上智大学ヨーロッパ研究所

事前申込: 不要・無料

<http://www.info.sophia.ac.jp/ei/lecture.html>

【EUSI 所属研究者による記事・執筆情報紹介】

中西優美子 (一橋大学大学院法学研究科教授・EUSI 執行委員)

「欧州安定メカニズム(ESM)条約とEU法の両立性」

『国際商事法務』Vol. 43, No. 6 (2013年) 936-943 頁

林秀毅 (EUSI 主任研究員・日本経済研究センター特任研究員)

「クロアチアのEU加盟、新たなリスクとなるか 明暗別れる旧ユーゴ諸国」

『欧州経済・金融レポート』(日本経済研究センター)(2013年6月11日)

<http://www.jcer.or.jp/column/hayashi2/index495.html>

林秀毅 (EUSI 主任研究員・一橋大学国際・公共政策大学院客員教授)

「異次元緩和とドラギマジック」

『日本経済新聞』十字路(2013年6月25日夕刊)

【EUに関するニュース】

2013年5月31日 第11回EUフィルムフェスティバル開幕。今回は22作品を上映。7月6日まで開催

2013年5月31日 アレクサンダー英財務相、英国のEU脱退は破滅的で影響力はノルウェー並みに低下と懸念表明

2013年6月1日 アシウトン EU上級代表、ミャンマー政府とカチン独立機構の合意に対して歓迎と賞賛の声明

2013年6月1日 アシウトン EU上級代表、シリアのクサイル情勢に対して深い憂慮の声明

2013年6月1-3日 ピエバルグス欧州委員(開発担当)、第5回TICAD参加

- 2013年6月2日 アシュトン EU 上級代表、エジプト新 NGO 法策定に向けた同国の努力の敬意と不備への懸念を声明
- 2013年6月2日 メルケル独首相、欧州委員会への権限移譲は当分必要なしと主張。財政統合推進より一步後退
- 2013年6月3日 バロゾ委員長、李国強中国首相と電話会談。EU・中国間の貿易摩擦問題をめぐり協議
- 2013年6月3日 外務省及び EU、第4回日 EU 英語俳句コンテスト開始。テーマ「虹」(Rainbow)。8月1日まで募集
- 2013年6月4日 欧州委員会、中国製太陽光パネルなどに対する暫定的反ダンピング課税の段階的適用を決定
- 2013年6月5日 中国商務部、欧州産ワインの不当廉売調査。EU の中国製太陽光パネル反ダンピング課税に対抗
- 2013年6月5日 欧州委員会、ラトビアの持続的な経済的収斂を評価する報告書。同国のユーロ採択を正式勧告
- 2013年6月5日 IMF、ギリシャ支援報告発表。債務再編を前倒しすべきだったと評価。EU 側に遅れの責任を示唆
- 2013年6月5日 アシュトン EU 上級代表ら、エジプトの外国 NGO 職員 43 名に対する禁固刑判決について憂慮の声明
- 2013年6月5日 Eurostat、4月小売売上高発表。ユーロ圏は前月比-0.5%、EU 全域は同-0.7%
- 2013年6月5-6日 駐日 EU 代表部、第6回 european design を東京で開催。ヨーロッパのインテリアデザイン紹介
- 2013年6月6日 バロゾ委員長、シリア危機に対して2013年末までに4億ユーロの追加支援を実施と発表
- 2013年6月6日 欧州委員会、タバコの不正取引・特に紙巻タバコの密輸対策強化の包括的パッケージを採択
- 2013年6月7日 日仏首脳会談、東京で開催。アフリカ開発や原子力エネルギー分野などの協力で合意
- 2013年6月9日 アシュトン EU 上級代表、トルコでの反政府デモと警察による武力介入に対し懸念と憂慮の声明
- 2013年6月11日 欧州委員会、欧州の空域での混雑除去のため、Single European Sky (SES)関連4法を更新
- 2013年6月11日 欧州委員会、反トラスト法被害救済のため、損害賠償請求手続を容易にする法案を提出
- 2013年6月11日 欧州委員会、鉄鋼産業に対する行動計画を提示。技術革新・エネルギー効率向上など柱
- 2013年6月12日 欧州委員会、脱税対策強化のため、加盟国税務当局間の自動情報共有範囲の拡大を提案
- 2013年6月12日 アシュトン EU 上級代表ら、児童労働反対世界デーに寄せて、EU の積極的取組を含めた共同声明
- 2013年6月12日 欧州議会、2014年欧州議会選挙の議席配分採択。12加盟国で1議席数減。クロアチア議席分確保
- 2013年6月13日 駐日 EU 代表部、日・EU フレンドシップウィーク・フォトコンテスト入賞者5名を発表
- 2013年6月13日 欧州委員会、原子力安全指令改正。6年毎の原発耐性評価義務付けなど、査定制度・透明性向上
- 2013年6月13日 EU、中国の欧州製鋼管反ダンピング課税措置に関して、中国をWTOに提訴。紛争処理交渉へ
- 2013年6月14日 EU 理事会、欧州議会選挙を2014年5月22日-25日実施と発表。当初の6月実施の前倒しを決定
- 2013年6月14日 アシュトン EU 上級代表、シリア政府の化学兵器使用に関する米国声明を受け、迅速解決を主張
- 2013年6月14日 EU 貿易担当相理事会、米国との環大西洋通商投資協定(TTIP)交渉権限を欧州委員会に委任決定
- 2013年6月14日 イラン大統領選挙で穏健派ロウハニ氏選出。アシュトン EU 上級代表、歓迎と核解決に向け声明

【編集後記】

今回の巻頭エッセイは、秋山晋吾一橋大学大学院准教授に寄稿をお願いします

した。社会学の分野からは初の寄稿です。一人のハンガリー人政治家の生涯を通じ、冷戦の前後を通じ大きく変動したハンガリーの現代史を知ることができます。

経済面からみれば、90年代当初、中東欧の優等生だったハンガリーは、国内政治の不安定化を背景に財政赤字が肥大化し、その後の欧州危機の影響も受け、現在もさまざまな問題を抱えています。

ハンガリーは、旧共産主義体制の負の遺産を抱えつつ EU に加盟し生きる中東欧各国の典型例であると言えるでしょう。

(林 秀毅・EUSI・一橋大学・EUSI メールマガジン編集担当)

振り返れば今月は、日本とヨーロッパの間に大きなイベントが重なる重要な月となりました。

まずオランド仏大統領が来日、そして日英交流 400 年・日スペイン交流 400 年ということで、スペインには皇太子が訪問しています。また G8 サミットで安倍首相が英国とアイルランドとポーランドを訪問、先進国や東欧諸国首脳の外に 3 月に一度延期された日・EU 間の首脳会談の機会もありました。

また今年には「日本におけるイタリア年」ということで、EU フィルムデーズが東京・イタリア文化会館を中心に開催されており、併せてダ・ヴィンチ展やミケランジェロ展などが東京や福井で開催されています(ただしサッカーではイタリアにコンフェデレーション杯で惜しくも負けてしまいましたが・・・)

こうして見ると、文化的なイベントが目白押しだった月だったように思います。

そしてそのような中で、俳句コンテストの募集も今月より始まりました。欧州との文化的なつながりがますます深まる機会になるようにと願っています。

さて週が開ければ、いよいよクロアチアの EU 加盟を迎えます。EU28 の誕生です！

28 カ国体制となる EU に「新たなファミリーが加わる」とのシュヴァイスグート大使の言葉にもあるように、欧州はどのような未来を描いてゆくのか注目してゆきたいと思います。

(林 大輔・EUSI 慶應分室・EUSI メールマガジン編集担当)

EUSI (EU Studies Institute) in Tokyo

〒186-8601 東京都国立市中 2-1

一橋大学 マーキュリータワー #3504 EUSI 事務局

TEL: 042-580-9117 / E-mail: info@eusi.jp

ご意見、ご感想、配信登録・配信停止、その他メールマガジンについての問い合わせにつきましてはこちら

E-mail: info@eusi.jp
